

北見市 洪水ハザードマップ

北見自治区版 保存版 2019年5月

この洪水ハザードマップは、常呂川、無加川、訓子府川、小町川が氾濫したときの浸水想定区域と浸水深、避難所等を掲載し、市民の皆さんに避難の目安として作成したものです。マップから洪水の知識を身に付け、危険が予想されている場合は、早めに安全な場所へ避難しましょう。なお、避難所については洪水災害に対応した避難所について記載しており、地震災害や土砂災害に対応した避難所、公園等の屋外の避難場所については、別にお取りししている「015年防災いつてもノート」によりご確認ください。

お問い合わせ先 北見市総務部防災危機管理室 TEL.0157-25-1171

避難するときの注意点

浸水深で避難の注意点を確認しましょう

- 浸水深 10.0m
- 5.0m
- 3.0m
- 2階に避難しても危険です。必ず、浸水が始まる前に避難所へ避難しましょう。
- 逃げ遅れたら、2階に避難しましょう。浸水が始まるまでの避難は危険です。万が一、避難に遅れたら、建物の2階以上へ行き、待機しましょう。

家屋倒壊等氾濫想定区域からの避難の注意点を確認しましょう

マップに示された黒破線の区域は、堤防が決壊したときに、家屋を倒壊させるような激しい流れが発生すると想定されている区域です。避難勧告などに従って安全な場所へ速やかに避難してください。

土砂災害から身を守る

避難する時の注意点

- 避難所へ移動する立ち遅れ避難が基本です。
- 避難所や安全な場所へ避難する際、他の土砂災害危険箇所の通過は避けましょう。
- 土石流に関しては浸水に対して**直向き**にできるだけ清流から離れましょう。
- 屋外での移動に危険が伴う状況下では、立ち遅れ避難がかえって危険であるため、このような場合は、建物の2階などのより高い階にある山の反対側の部屋に待機しましょう。

土砂災害危険箇所・土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域

■土砂災害危険箇所
一定の基準に基づき、土砂災害（がけ崩れ・土石流・地すべり）を抽出した箇所です。

●洪水ハザードマップでの表記のしかた

- がけ崩れ危険箇所
- 土石流危険深流
- 地すべり危険箇所

■土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域

法律に基づき、北海道が土砂災害危険箇所について、現地調査を行い避難体制の整備と土地利用制限などの規制をかけた区域です。

土砂災害特別警戒区域は、建物が破壊され、住民に大きな被害が生じるおそれがある区域となります。（現在、全ての箇所の調査は終わっていません）

●洪水ハザードマップでの表記のしかた

- （がけ崩れ）
- （土石流）
- （土砂災害警戒区域）
- （土砂災害特別警戒区域）

気象情報・防災情報

水害を含む災害が発生したとき、または発生しそうなときは、テレビ、ラジオのほか、以下のホームページで気象情報・防災情報を確認できます

●気象庁
雨、風、気温など気象に関する様々な情報を提供しています。
<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

●北海道土砂災害警戒情報
土砂災害による被害の防止・被害の軽減のための情報を発表しています。
<http://www.rjwa.jp/hokkaido-sabou/>

●国土交通省川の防災情報
水位観測所のリアルタイム水位・雨量の情報を提供しています。
<http://www.river.go.jp/kawabou/jp/TopGaiyo.do>

●北海道防災情報
北海道において発令されている防災情報を提供しています。
<http://www.bousai-hokkaido.jp/>

北見市洪水ハザードマップ〔北見自治区版〕(全2枚の内1) ①東相内町拡大図

計画規模

施設名称	所在地	電話番号	施設名称	所在地	電話番号
三輪小学校(2階以上)	中央三輪8丁目14-1	36-2241	大正小学校	大正64-2	36-4720
緑小学校(2階以上)	緑町2丁目1-1	36-2688	東相内小学校(2階以上)	東相内町178-10	36-5428
緑見センター	緑町3丁目3-9	36-7994	東相内中学校	東相内町25-8	36-2175
北見東相内総合福祉センター(サントライ北見)	即町1丁目12-2	36-3100	北見工業高等学校(2階以上)	東相内町602	36-5524
			豊地小学校(2階以上)	豊地786-1	36-4721

このマップは、常呂川、無加川、訓子府川、小町川が計画規模降雨(100年に1回程度起こる大雨)により氾濫した場合の北見自治区の浸水が想定される区域と浸水深、避難所を表示しています。計画規模降雨降下時の前提となる想定降雨量は、下表のとおりです。

河川名	計画規模降雨
常呂川	148mm(12時間)
無加川	138mm(12時間)
訓子府川	72mm(4時間)
小町川	68mm(2時間)

実際の洪水時には、その他の河川や水路などからの浸水により、マップに表示されている以外の場所での浸水や、浸水深が異なる場合がありますので、十分な注意、早めの避難を心がけてください。

凡例

- 警 察
- 消 防 所
- 市 役 所
- 国 道
- 道 道
- 線 路
- 字 界 線
- ▲ 水 位 観 測 所
- ▲ アンダーパス
- ▲ 土 石 流 危 険 深 流 (がけ崩れ)
- ▲ 土 砂 災 害 警 戒 区 域 (イエローゾーン)
- ▲ 土 砂 災 害 特 別 警 戒 区 域 (レッドゾーン)

注意
「2階以上」の表示がある避難所については、災害の危険性が高まった場合には、2階以上への「重直避難」が可能です。

市は、計画規模の洪水(上図)を前提とした避難体制を基本としますが、状況により、想定最大規模の洪水(下図)に対する避難体制も移行する場合がありますので、マップ上に記載している注意事項などに十分留意してください。

情報の伝達経路と避難の呼びかけ

気象庁 網走地方気象台 注意報・警報などの気象情報

国土交通省 網走開発建設部 常呂川と無加川の水位情報など

北海道 オホーツク総合振興局 無加川、訓子府川、小町川の水位情報など

今後の雨の降り方に注意

避難情報発令の判断

災害対策本部 避難勧告などの避難情報

避難準備・高齢者等避難開始 避難勧告や避難指示(緊急)を発令することが予想される場合に発令

避難勧告 洪水の発生が予想され、災害が発生する可能性が高まったときに発令

避難指示(緊急) 洪水が発生するなど、状況がさらに悪化し、災害の危険性が非常に高まったときに発令

○テレビ ○ラジオ ○インターネット などから

○緊急速報メール ○広報車 などから

○メール○きたみ ○北見市ホームページ ○町内会・自治会 などから

メール○きたみ
災害時における災害状況などの気象情報を発信するサービスです。(※登録が必要になります)
<http://www.info.city.kitamiji.lg.jp/mailportal.html>

北見市ホームページ
<http://www.city.kitamiji.lg.jp/>

北見市フェイスブック
<https://www.facebook.com/kitamiji.city/>

市民の皆さんへ避難の呼びかけ

皆さんのとるべき行動

大雨などに関する注意報や台風に関する情報が発表されたら...

→ 今後の雨の降り方に注意しましょう

○テレビ、ラジオ、インターネットで、今後の雨量、台風の進路と上陸する時間、暴風についての気象情報を確認しましょう

○洪水ハザードマップで浸水の危険や建物や物が流される危険について確認しましょう

○さらに、避難所も確認しましょう

○避難情報の種類を確認しましょう

大雨などに関する警報が発表されたら...

→ 水害に備えましょう

○さらに気象情報を確認しましょう

○インターネットで水位情報を確認しましょう

○避難所への避難を想定し、必要なものを用意しておきましょう

○家族との連絡方法について確認しましょう

○身の危険を感じたら自発的に避難をする心構えを持ちましょう

避難準備・高齢者等避難開始が発令されたら...

→ 避難行動を開始しましょう

○お年寄りや身体の不自由な方等と、その支援者は、避難所へ避難しましょう

○それ以外の方も、気象情報などに注意し、避難所への避難の準備を進めましょう

避難勧告が発令されたら...

→ 速やかに避難をしましょう

○速やかに避難所へ避難しましょう

○避難所への避難ができていない場合は、近隣の安全な場所や建物を避難したり、その時自分がいる建物の中より安全な部屋へ移動し、屋内での安全を確保しましょう

避難指示(緊急)が発令されたら...

→ 緊急避難・身の安全を確保しましょう

○避難所へ緊急に避難しましょう

○避難所への避難ができていない場合は、近隣の安全な場所や建物を避難したり、その時自分がいる建物の中より安全な部屋へ移動し、屋内での安全を確保しましょう

仁頃川周辺

浸水深	想定最大規模降雨
2.0~5.0m未満	280mm(12時間)
1.0~2.0m未満	280mm(12時間)
0.5~1.0m未満	214mm(4時間)
0.5m未満	136mm(2時間)

※2015年発行「防災いつてもノート」より抜粋

想定最大規模

想定最大規模

このマップは、常呂川、無加川、訓子府川、小町川が想定最大規模降雨(1,000年に1回程度起こる大雨)により氾濫した場合の北見自治区の浸水が想定される区域と浸水深、避難所を表示しています。想定最大規模降雨量は下表のとおりです。

河川名	想定最大規模降雨
常呂川	280mm(12時間)
無加川	280mm(12時間)
訓子府川	214mm(4時間)
小町川	136mm(2時間)

避難所一覧表

施設名称	所在地	電話番号
三輪小学校(2階以上)	中央三輪8丁目14-1	36-2241
緑小学校(2階以上)	緑町2丁目1-1	36-2688
大正小学校	大正64-2	36-4720
東相内小学校(2階以上)	東相内町178-10	36-5428
東相内中学校	東相内町25-8	36-2175
豊地小学校(2階以上)	豊地285-1	36-4721

凡例

- 警 察
- 消 防 所
- 市 役 所
- 国 道
- 道 道
- 線 路
- 字 界 線
- ▲ 水 位 観 測 所
- ▲ アンダーパス
- ▲ 土 石 流 危 険 深 流

浸水深

- 5~10m未満
- 3~5m未満
- 0.5~3m未満
- 0.5m未満

このマップは、想定した複数の破堤箇所それぞれの最大の浸水範囲及び浸水深をすべて重ね合わせて示したものであり、地図に示したすべての範囲が同時に浸水するものではありません。

※北見自治区は、中所有の地図(縮尺1/200千平成27年作成)に、国土交通省公表(平成28年6月)及び北海道公表(平成28年5月)の「常呂川、無加川、訓子府川、小町川」の洪水浸水想定区域図をそれぞれ重ねて作成したものです。現在、現在の土地の状況と差異がある場合がありますので注意してください。

※浸水想定区域外の方でも、危険だと感じた、最悪の事態を避けるため、避難所へ避難してください。

このマップの計画規模降雨(100年に1回程度起こる大雨)と下のマップの想定最大規模降雨(1,000年に1回程度起こる大雨)による浸水想定区域及び浸水深は、河川管理者である国土及び北海道の洪水シミュレーション(予測)に基づき作成及び公表したものを掲載しています。

〔仁頃川周辺〕及び〔位置図〕の背景図は、国土院院地院の提供を受け、関係発行の電子地図版25000を基にしたものであり(測図番号 甲30情報 甲1095号)